

第32回経営・経済動向調査

(社)関西経済連合会

大阪商工会議所

目 次

概 要

1. 国内景気.....	1
2. 自社業況.....	2
(1) 総合判断.....	2
(2) 個別判断.....	3
3. 2009年の経済の見通しについて.....	6
(1)2009年3月末及び、2009年12月末の日経平均株価予想.....	6
(2)2009年3月末及び、2009年12月末の円/ドル為替レート予想.....	6
(3)来年1年間の経済について懸念される事項.....	7

概 要

1. 調査対象

(社)関西経済連合会・大阪商工会議所の会員企業 1,871社

2. 調査時期

2008年11月17日～12月1日(四半期ごとに実施)

3. 調査方法

調査票の発送・回収ともFAXによる

4. 回答状況

604社(うち大企業230社、中小企業374社)、有効回答率:32.3%

企業区分は中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。

製造業他:資本金3億円以下

卸売業:資本金1億円以下

小売業・サービス業:資本金5千万円以下

<今回の調査に関するお問い合わせ先>

(社)関西経済連合会 経済調査部 小林(義)、小林(誠)

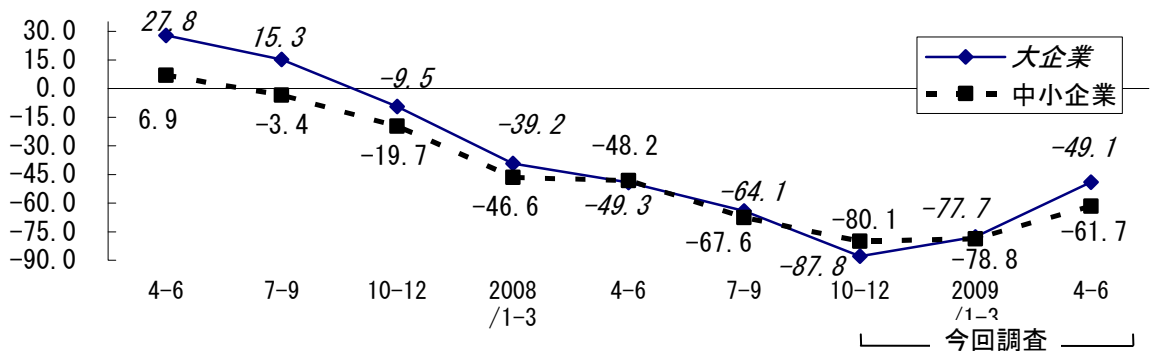
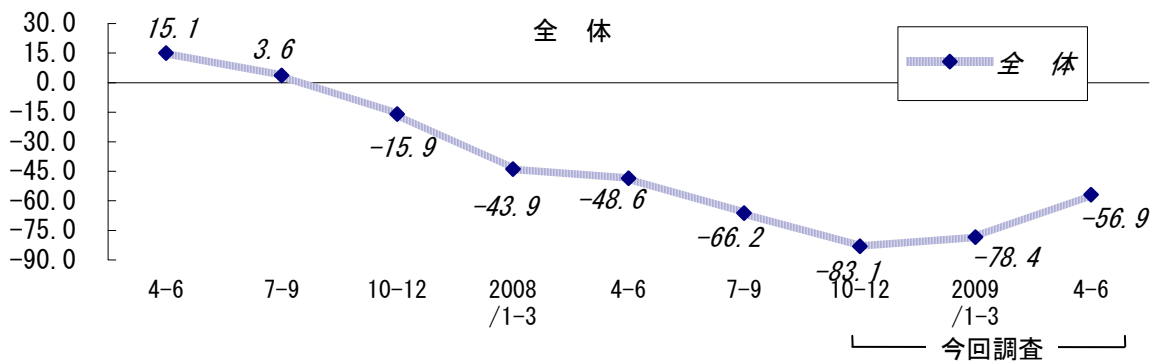
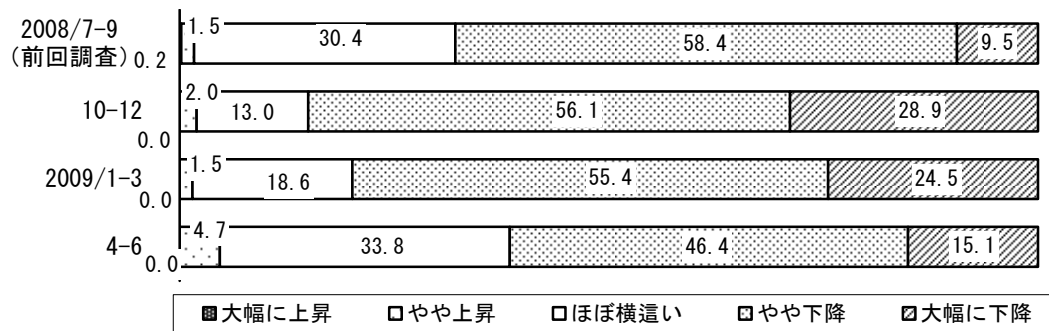
TEL:06-6441-0102

1. 国内景気・・・BSI(10～12月期)は▲83.1 :調査開始(2001年3月)以来、最低の水準

- ・ 2008年10～12月期における国内景気の実績見込みを「上昇」（「大幅に上昇」「やや上昇」の合計、以下同じ）とみる回答は2.0%と、前回調査（7～9月期）の1.7%より0.3%ポイント増加している。しかし、「下降」（「大幅に下降」「やや下降」の合計、以下同じ）とみる回答は、85.0%となり、前回（7～9月期）の67.9%より17.1%ポイント増加している。

以上の結果、BSI（「上昇」割合－「下降」割合、以下同じ）は、▲83.1で、前回（7～9月期）の▲66.2から大きく下降し、5期連続のマイナスとなった。2001年3月期調査開始以来、最低の水準。

- ・ 先行きの見通しについても、2009年1～3月期のBSIは▲78.4、4～6月期は▲56.9と足下水準から上昇しているものの、厳しい見方が続く。
- ・ 規模別にみると、大企業の2008年10～12月期のBSIが▲87.8、中小企業▲80.1と、いずれも前回（7～9月期）を大きく下回った。先行きBSIは、大企業、中小企業とも、マイナス圏の低い水準で推移しているが、中小企業の方が、慎重な見方となっている。



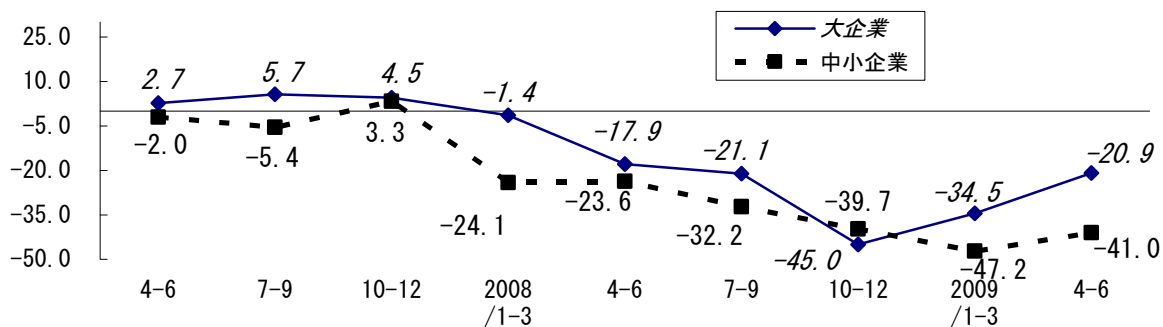
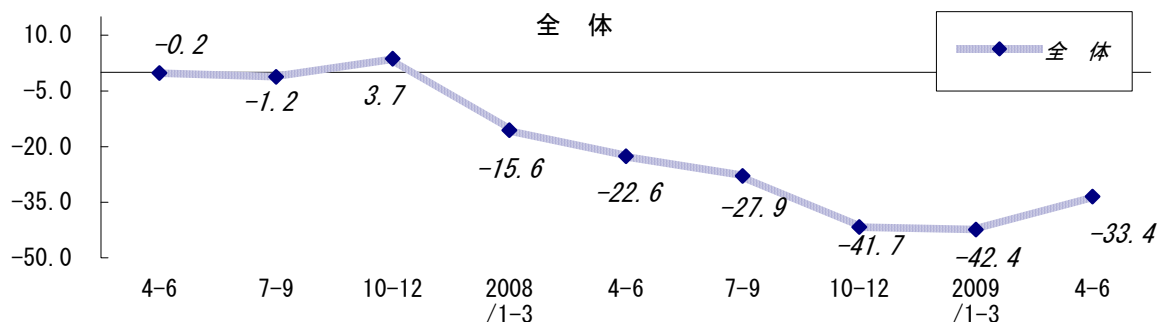
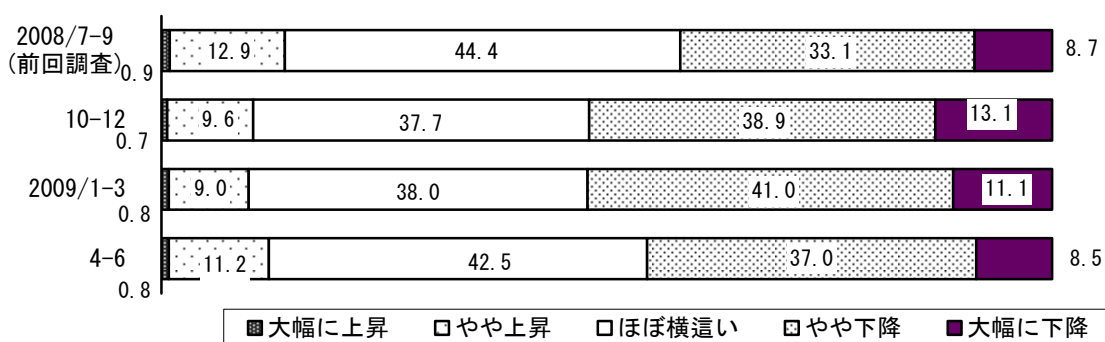
2. 自社業況

(1) 総合判断…BSI(10~12月期)は▲41.7 : 4期連続のマイナス

・ 自社業況の総合判断は、2008年10~12月期における実績見込みのBSIが▲41.7で、4期連続のマイナスとなった。足元BSIが▲40を下回るのは、2001年9月期(▲44.8)以来。

先行きBSIは、2009年1~3月期が▲42.4と足元実績をさらに下回るものの4~6月期については▲33.4とマイナス圏での上昇となっている。

・これを規模別にみると、2008年10~12月期のBSIは大企業が▲45.0、中小企業が▲39.7と、ともに前回(7~9月期)を下回った。先行きについても、引き続き厳しい見方が続く。中小企業の方が、慎重な見方となっている。



(2) 個別判断・・・生産・売上高や経常利益の実績見込み並びに先行きに厳しい見方

➤ 生産・売上高について

全体での2008年10～12月期実績見込みは「減少」が49.7%と、「増加」13.8%を35.9%ポイント上回っている。また、先行きも「減少」が「増加」を上回っており、厳しい見方が続いている。

大企業・中小企業とも同様の傾向である。

➤ 製・商品の価格について

全体での2008年10～12月期実績見込みは、「下降」が27.1%と、「上昇」14.5%を12.6%ポイント上回っている。先行きについても「下降」が「上昇」を上回る。

大企業・中小企業とも同様の傾向である。

前回9月調査時には「上昇」が「下降」を上回っていた。リーマンショック以降、景気低迷や原油価格反落に伴い値下げ圧力が強まっている様子。

➤ 経常利益について

全体での2008年10～12月期実績見込みは、「減少」が54.5%と、「増加」11.9%を42.6%ポイント上回っている。また先行きも「減少」が「増加」を上回っており、厳しい見方が続く。

大企業・中小企業とも同様の傾向である。

➤ 雇用判断について

全体での2008年10～12月期実績見込みは「ほぼ適正」が74.3%となっており、先行きも同様の見方となっている。

ただ、大企業・中小企業とも前回9月調査比「過剰」感が増加している。

➤ 製・商品在庫について

全体での2008年10～12月期実績見込みは「過剰」が26.7%、「不足」が4.5%と、「過剰」が「不足」を上回っている。一方で、先行きは、「過剰」とする回答が減少、「ほぼ適正」とする回答が増加しており、在庫の過剰感が和らぐと見込まれている。

特に足下では大企業の在庫過剰感が強くなっている。

➤ 資金繰りについて

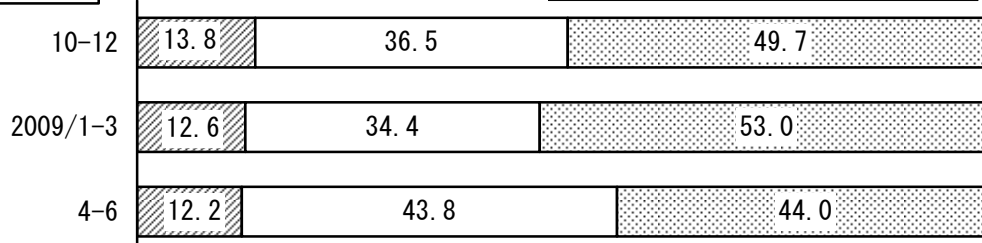
全体での2008年10～12月期実績見込み並びに先行き見通しは、「悪化」が18.8%、「改善」が3.5%と「悪化」が「改善」を上回る。先行きも同様の見方となっている。

特に、中小企業で「悪化」と見る見方が多い。

全体集計結果

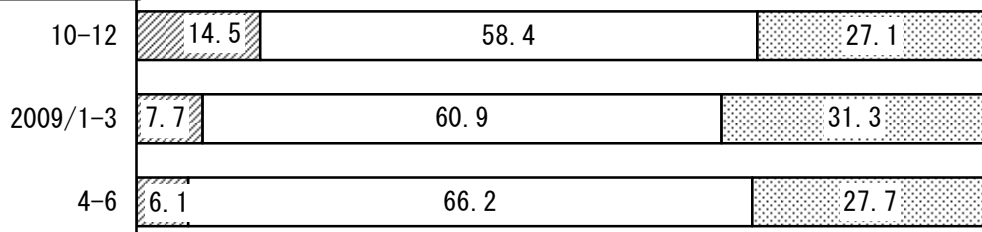
生産・売上高

■増加 □ほぼ不変 □減少



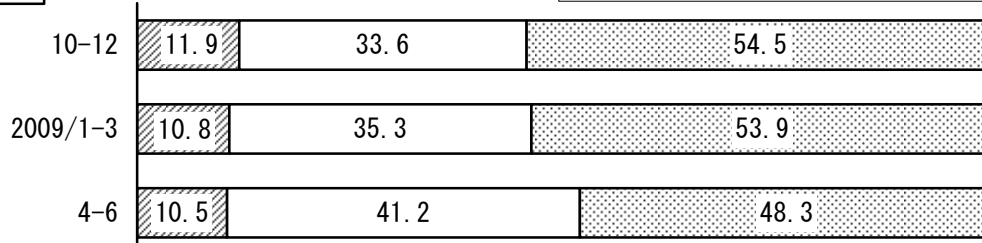
製・商品の価格

■上昇 □ほぼ不変 □下降



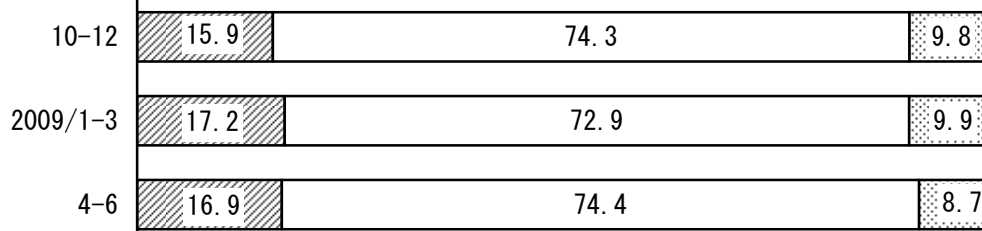
経常利益

■増加 □ほぼ不変 □減少



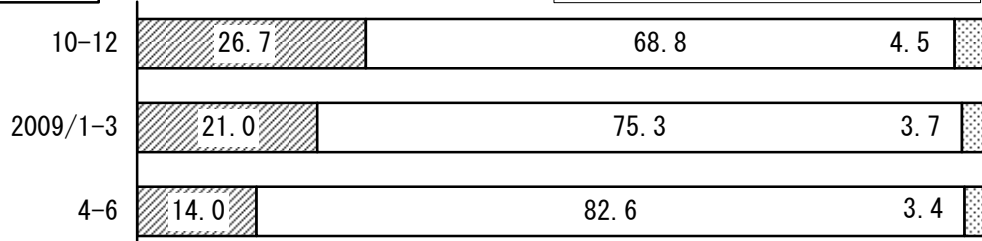
雇用判断

■過剰 □ほぼ適正 □不足



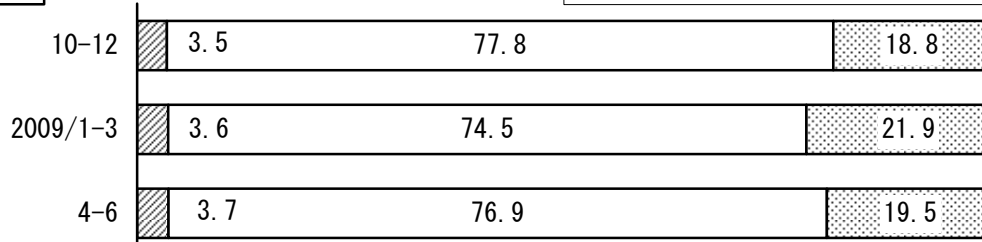
製・商品在庫

■過剰 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

■改善 □ほぼ不変 □悪化



生産・売上高

	全 体			大企業			中小企業		
	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少
10-12 月期	13.8	36.5	49.7	13.4	35.0	51.6	14.1	37.3	48.6
1-3 月期	12.6	34.4	53.0	16.7	38.9	44.4	10.3	31.7	58.0
4-6 月期	12.2	43.8	44.0	13.1	51.6	35.2	11.7	39.2	49.0

製・商品の価格

	全 体			大企業			中小企業		
	上昇	ほぼ 不変	下降	上昇	ほぼ 不変	下降	上昇	ほぼ 不変	下降
10-12 月期	14.5	58.4	27.1	12.1	60.0	27.9	15.9	57.4	26.6
1-3 月期	7.7	60.9	31.3	6.5	66.5	27.0	8.5	57.7	33.9
4-6 月期	6.1	66.2	27.7	3.3	73.6	23.1	7.7	61.9	30.4

経常利益

	全 体			大企業			中小企業		
	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少
10-12 月期	11.9	33.6	54.5	14.7	33.8	51.6	10.2	33.4	56.3
1-3 月期	10.8	35.3	53.9	16.5	39.3	44.2	7.3	32.9	59.8
4-6 月期	10.5	41.2	48.3	12.7	48.2	39.1	9.2	37.0	53.8

雇用判断

	全 体			大企業			中小企業		
	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足
10-12 月期	15.9	74.3	9.8	17.2	75.8	7.0	15.1	73.4	11.6
1-3 月期	17.2	72.9	9.9	15.4	75.3	9.3	18.3	71.4	10.2
4-6 月期	16.9	74.4	8.7	15.9	77.4	6.6	17.5	72.5	10.0

製・商品在庫

	全 体			大企業			中小企業		
	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足
10-12 月期	26.7	68.8	4.5	29.7	67.2	3.1	25.0	69.6	5.4
1-3 月期	21.0	75.3	3.7	18.8	78.1	3.1	22.3	73.7	4.0
4-6 月期	14.0	82.6	3.4	9.4	88.2	2.4	16.5	79.5	4.0

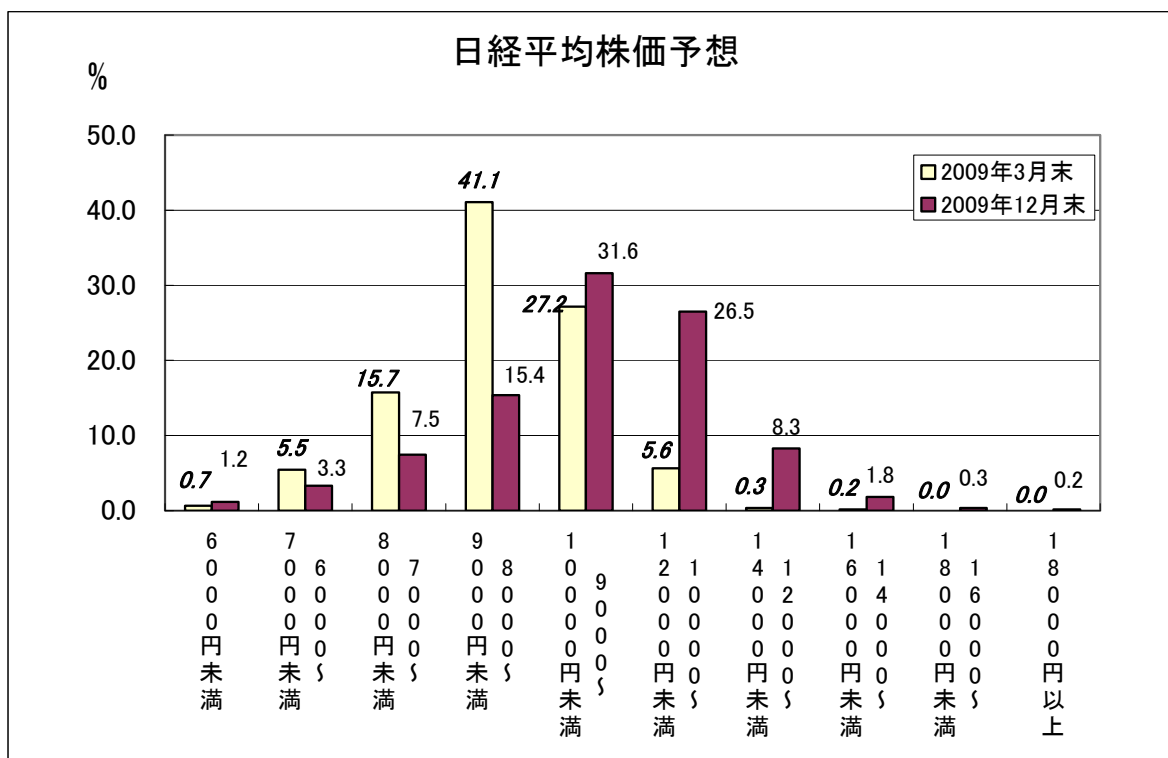
資金繰り

	全 体			大企業			中小企業		
	改善	ほぼ 不変	悪化	改善	ほぼ 不変	悪化	改善	ほぼ 不変	悪化
10-12 月期	3.5	77.8	18.8	2.8	86.8	10.4	3.8	72.5	23.6
1-3 月期	3.6	74.5	21.9	3.3	84.4	12.3	3.8	68.7	27.5
4-6 月期	3.7	76.9	19.5	3.8	87.7	8.5	3.6	70.6	25.8

3. 2009年の経済の見通しについて

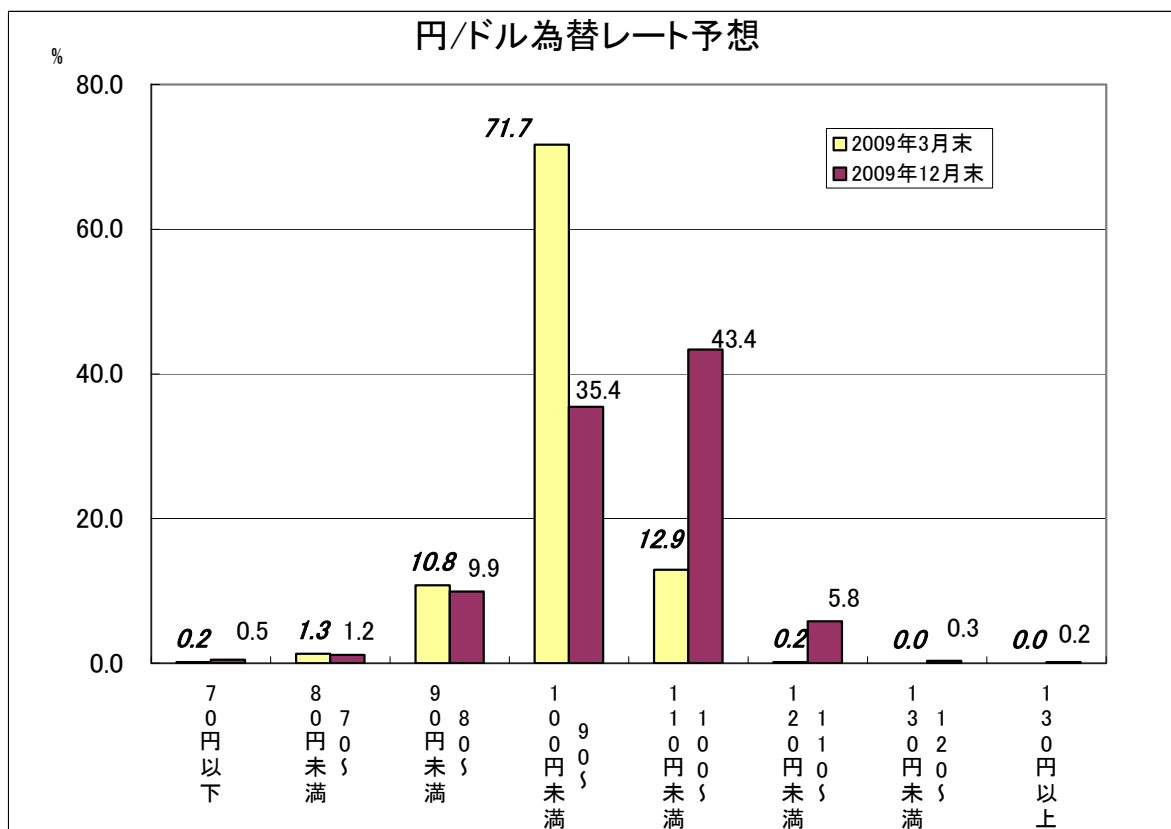
(1) 2009年3月末及び、2009年12月末の日経平均株価予想（回答数 604）

2009年3月末は、「8000～9000円未満」（41.1%）との回答が最も多く、次に「9000～10000円未満」が続く。2009年12月末では、「9000～10000円未満」（31.6%）が最も多く、次に「10000～12000円未満」が続く。



(2) 2009年3月末及び、2009年12月末の円/ドル為替レート予想(回答数 604)

2009年3月末は、「90～100円未満」（71.7%）との回答が最も多く、次に「100～110円未満」が続く。2009年12月末は、「100～110円未満」（43.4%）が最も多く、次に「90～100円未満」が続く。



(3) 来年1年間の経済について懸念される事項(2つ選択、回答数 604)

「米国、ユーロ圏の更なる景気低迷」(53.5%)との回答が最も多く、次に「企業の倒産件数の増加」、
「消費マインドの低迷」が続く。

業種別では、製造業・非製造業とも、「米国、ユーロ圏の更なる景気低迷」が最も多く、「企業の倒産件数の増加」、
「消費マインドの低迷」が続く。

